

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぐりーんあっぷる白石教室		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの特性を的確に理解し、個別支援計画に基づいた専門性の高い支援が提供されており、保護者からの信頼と満足度が高い点。	日々の支援前後の打合せや記録の共有を徹底し、職員間で児童の状況や支援方針の共通理解を図ることで、一貫性のある支援を行っている。	地域との交流機会が十分とは言えないため、児童館や関係機関との連携を強化し、他児との関わりや社会参加の機会の充実を図る。
2	職員間の情報共有やチーム支援体制が整っており、計画作成から日々の支援、振り返りまで一貫した支援の質が確保されている点。	児童の特性や発達段階に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせるとともに、活動内容に変化を持たせることで、主体性や社会性の育成を図っている。	家族支援や保護者同士の交流機会に課題があるため、保護者会や情報提供の場を検討し、家庭全体を支える支援体制の強化を進める。
3	保護者との連携や情報発信が充実しており、日々の状況共有や迅速で丁寧な対応により、安心して利用できる環境が構築されている点。	連絡帳や送迎時のやり取り、SNS等を活用し、保護者との情報共有を丁寧に行うことで、家庭と連携した支援と安心できる関係づくりを行っている。	安全管理や訓練の実施状況について認知に差があるため、マニュアルや訓練内容の周知方法を工夫し、保護者の安心感の向上につなげる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が十分とは言えず、他の児童や地域資源との関わりが限定的であるため、社会参加の機会の拡充が課題となっている点。	地域交流については、日々の支援や安全管理を優先する中で、外部機関との連携や交流機会の計画的な確保が十分に行えていないことが要因である。	地域交流の機会を計画的に設定し、児童館や関係機関との連携を強化することで、他児との関わりや社会参加の機会の充実を図る。
2	家族支援や保護者同士の交流の機会が十分に提供できていないため、家庭全体を支える支援体制の強化が必要である点。	家族支援については、個別対応が中心となっており、保護者同士の交流機会や研修等の場の設定まで十分に展開できていないことが要因である。	保護者会や情報提供の機会を検討・実施し、保護者同士の交流や家族支援の充実を図るとともに、家庭全体を支える体制を強化する。
3	安全管理や各種マニュアル、訓練の実施状況について、保護者への周知や理解にばらつきが見られるため、情報発信の強化が課題である点。	安全管理に関する周知については、マニュアル整備や訓練は実施しているものの、保護者への情報発信や説明の機会が不足していることが要因である。	安全管理に関するマニュアルや訓練内容について、通信や説明機会を活用して周知を強化し、保護者の理解と安心感の向上につなげる。